

Time travel in MIYOSHI

三好 歴史をたどる旅

第2話 「村から町へ」

今回は、三好の名前の由来と三好村の生い立ちについて紹介しました。その後この三好村が今の三好町になったのはいつ、どのようにしてなのか。今回はこの三好村が町になるまでを紹介します。

明治維新以後の村の様子

明治維新後、経済の発展に伴い、三好村一円でも各種の産業が目覚ましい発展を遂げました。教育においては、次第に村民より高等小学校の創設の必要性が叫ばれるようになり、明治25年、県の認可を得て、三好、助生、明越の三村が合同して三好高等小学校（現在の中部小学校）が開校されました。明治38年10月には、産業組合法により、三好村では最初の産業組合が助生村地区に設立されるなど、三好村、助生村、明越村の三村が合併したころには、特に農業が急速に進歩しました。明治末期から昭和初期までの三好村では、稲作や桑の栽培が盛んだったようです。そして山地の開拓が進むようになると、果樹の栽培も行われるようになりました。昭和の時代に入ると、交通手段も発達し、人々の往来が多くなってきたため、定期バスの運行も増加しました。三好村では、豊田や名古屋などの大都市への往来が多かったようです。



町制施行時の役場（昭和33年）



町制施行を報じる広報

町制施行

昭和の中期、村民の生活も豊かになり、産業、交通、教育などがほかの町と比べて見劣りしなくなってきたと、次第に村民の間から町制施行の声がかかるようになりました。三好村が誕生した明治39年ごろの人口は6,000人ほどですが、昭和33年には9,000人ほどまで増加しています。昭和32年の末ごろから町制施行の声は特に活発になり、昭和33年1月には、村の商工会から町制施行の早期実現を要望する陳情書が村に提出されました。村としても村民の要望を実現したいと考え、議会全員協議会、区長会議、各種団体代表者合同会議などに町制施行の意図を表明。その賛成を得て、村は町制施行に向けてさらに計画を進めました。

昭和33年2月18日、臨時村議会が召集されました。議案は「村を町とすることについて」。当時の村長は初代三好町長となる久野源蔵氏でした。議会には22人の議員全員と村長、助役が出席。満場一致により、議案は原案どおり可決されました。そして愛知県知事に対して、昭和33年4月1日より三好村を三好町とする処分を申請。これによりついに三好町が誕生しました。

町章の制定

昭和34年2月、町制施行記念事業の一環で町章が制定されました。当初、町内で図案の募集をしたところ90件の応募がありました。より良い作品を求めて愛知工業高等学校図案印刷科にも応募を依頼。110数件の応募がありました。合わせて200点の応募作品の中からまず5つの佳作を選定し、最終的にみよしの「み」の字を図案化した円形のものに決定されました。この町章には、みよしが常に平和であるようにという思いが込められ、勤労を尊ぶ意味で、農員の「かま」と「すき」の形も表わされています。

おめでとら おたんじょうび 6月

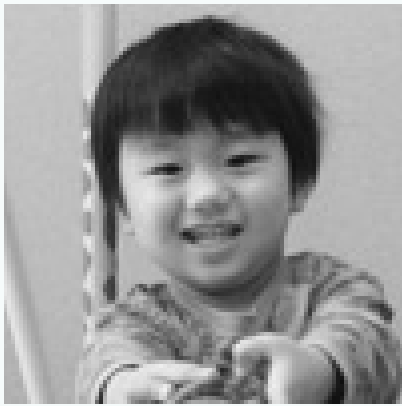
『ごっこ「あそび」』

とっても面倒見がいいしゅうくん。妹の朋香ちゃんと、かくれんぼをしたり、滑り台を滑ったりして、一緒に遊んであげるんだって。ご飯を食べた後は、食器のお片付けもちゃんとするんだよ。お手伝いが得意なしゅうくんは「今の素直な気持ちを忘れずに、思いやりのある、優しくたくましい子に育ってほしいな」とお母さん。

巖谷 脩人くん(三好丘桜)

平成12年6月11日生

父・武彦さん 母・めぐみさん



『ヒーロー大好き』

いつも元気いっぱいなしょうくんは、アバレンジャーとウルトラマンが大好き。お兄ちゃんの和真くんから、お気に入りのヒーローのおもちゃを借りて、ちゃんばらっこをして遊ぶんだって。最近「バイバイ」と上手にあいさつができるようになったしゅうくんは「兄弟仲良く、優しく元気な子に育ってほしいわ」とお母さん。

伊藤将吾くん(ひばりヶ丘)

平成13年6月3日生

父・清親さん 母・友美さん



氏名お披露目

【8月のお誕生日コーナー】

▼応募期間 7月2日から4日まで

▼対象 8月生まれで3歳未満の児

▼応募方法 広報情報課へ電話で

☎(32) 83357

広報クイズ

次の①、②の問題について、条件に従って答えをそれぞれ2通りずつ作ってください。(記号は何度使ってもかまいません)

問題①

条件：1から7までの数字の間に+、-を当てはめて式を完成させてください。

$$1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7 = 55$$

問題②

条件：1から9までの数字の間に+、×を当てはめて式を完成させてください。

$$1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7\ 8\ 9 = 100$$

【応募方法】答え(例：①1+23-4+5+6-7=4)・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢とご意見、ご要望などを書き添えて、はがき、

ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

・はがき：〒470-0295

三好町役場広報情報課(住所不要)

・ファクス：☎(32) 2165

・電子メール：☎kohjoho@town.miyoshi.aichi.jp

【締切り】6月11日(水)必着

【5月号の正解と当選者】①9-5=4②6÷

3=2③7+1=8(全104通中104通正解)磯村鎮司、奥岡航平、加藤麻衣、桑原史代、柴田知江、丹生佳世子、藤嶋紫峰、森岡泰行、山田常雄、吉田末子(敬称略)

【アイデア・企画】広報で紹介するといいなと、いつアイデアなどありましたら広報情報課へお知らせください。